**2017 年 8 月 1 日(第 9 版)　　医療機器製造販売承認番号 21900BZX00238000

*2007 年 12 月 10 日(第 8 版)

機械器具 3 医療用消毒器

小型未包装品用高圧蒸気滅菌器　JMDN コード 40547020

管理医療機器　　特定保守管理医療機器

デントクレーブ５００Ｍ

**【警告】

1．滅菌室の針が「0」の時以外は絶対にドアを開けないこと。[火傷や怪我をする恐れがあります。]

2．滅菌器、被滅菌物は高温になるので火傷に注意すること。

5. 作動させたままで外出は危険です。診療終了後、高圧滅菌器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は絶対に行わないこと。[異常発生の場合の即時対処が行えず、事故に繋がる恐れがあります。]

6. 被滅菌物を直接スノコ板に置かないこと。[滅菌物を焦がす原因になります。]

【禁忌・禁止】

1．蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物をいれて滅菌しないこと。[滅菌できなかったり、故障の原因になります。]

2．培地・液体・薬品を滅菌しないこと。[薬品類は爆発を起こしたり、滅菌槽を腐食させるものがあり、火傷や怪我の原因になります。また、排気時に滅菌槽内の圧力が急激に低下するため、容器から培地などが飛び散り、配管やバルブにつまり、故障の原因になります。]

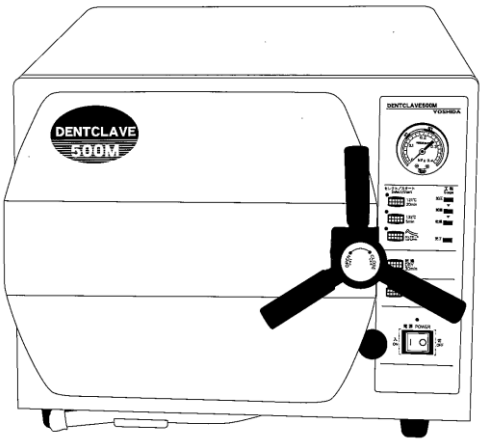
3．連続運転は行わないこと。完了ブザーが鳴った後、被滅菌物を取り出した後、ドアを少し開き 20 分以上の冷却時間を置いてから次の滅菌をスタートすること。

4．可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないこと。[防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

〈各部の名称〉

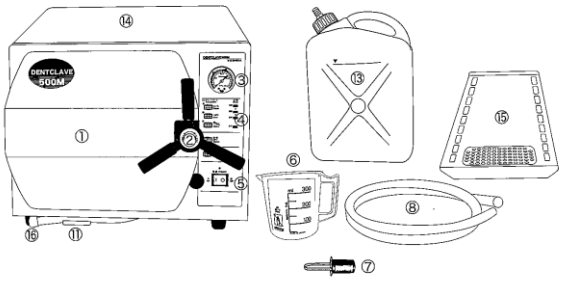
本体外観図

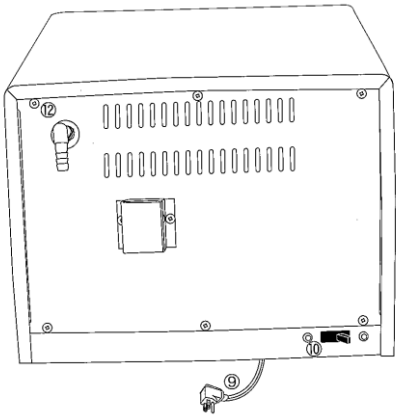


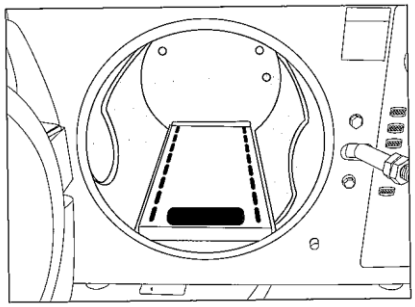
詳細については使用説明書の「デントクレーブ５００Ｍ各部の名称と付属品」の章を参照。

使用説明書等を必ずご参照ください

本体







※スノコ板を滅菌槽の奥にセットしてください。

① ドア
② ドアハンドル
③ 圧力計
④ 操作パネル
⑤ 電源スイッチ
⑥ 計量カップ
⑦ 排液フィルター
⑧ 排水ホース
⑨ 電源コード
⑩ 電気安全ブレーカー
⑪ 冷却水用排液ホース
⑫ 排液口
⑬ 排液ボトル
⑭ 本体
⑮ 滅菌槽「スノコ板」

【作動・動作原理】

本器は、高圧蒸気による医療用具の滅菌器であり、設定した時間で滅菌および乾燥を行います。滅菌槽に付属の計量カップにて 300cc 注水し、滅菌槽より水槽タンクへ水が排水されます。また、サーミスタ方式により温度制御を行います。

＜仕様等＞

外寸法	W410㎜／D415㎜（ハンドル部含まず）／H320㎜
滅菌槽寸法	220Φ×330㎜
滅菌槽収容力	簡易カスト　220×1 個/丸カスト(180㎜)×2 個／専用角カスト E22×2 個／L22×1 個
操作方法	セミオートマチック
滅菌温度	121℃／１32℃
制御回路	マイコン制御
滅菌時間	121℃：20 分／132℃：5 分
乾燥温度	135℃
表示方式	表示灯点灯
安全装置	圧力安全弁・空焚き防止装置・電気安全ブレーカー
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	1.2kW
重量	23kg
付属品	スノコ板、排液ボトル他

詳細については使用説明書の[仕様]の章を参照。

使用説明書等を必ずご参照ください

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本器は高圧蒸気により、医療用具等を滅菌するために使用する。

【使用方法等】

詳細については使用説明書の[使用方法]の章を参照。

1. 圧力計が「0」であることを確認してドアハンドルを「OPEN」の方向に回転して、ハンドルを右に倒して、ドアを開けます。

2. 計量カップで 300cc の精製水を滅菌槽内に注水します。

3. 被滅菌物を滅菌槽アミトレー等に入れ、滅菌槽内のスノコ板の上に入れてください。ドアを閉じてドアハンドルを左に倒して「CLOSE」の方向に回転させ、しっかりと止まるまで締め付けること。

4. 滅菌サイクルを選定してください。（132℃又は、121℃又はハンドピースのいずれかを押します）。滅菌がスタートします。

5. 完了になるとブザーが 30 秒鳴り、電源が自動的に切れます。（セレクト・完了・電源ランプは点灯しています。）圧力計が「0」であることを確認して、ドアハンドルを「OPEN」方向に回転させ、ドアを開き被滅菌物を取り出してください。（ドアを開けると蒸気が出ますので手や顔などを絶対に近づけないこと。又、被滅菌物は高温になっていますので、取り出すときは十分に注意すること。）

**【使用上の注意】

1. 被滅菌物同士は、出来るだけ隙間を空けて収納してください。詰め過ぎると蒸気の浸透が妨げられ滅菌できない恐れがあります。スポーアテスト（バイオロジカルインジケーター）を用いて、被滅菌物の収納状態・量等の滅菌条件を決定してください。

2. 滅菌効果は被滅菌物の収納方法等で変わります。ケミカルインジケーターと一緒に収納し滅菌効果の確認をしてください。

3. 異常時（焦げ臭いなど）は、ストップキーを押し運転を停止し、電源スイッチを「切」にしてください。

4. 本器は平坦水平で強度のあるキャビネット、架台（キャスターの無い物）に設置してください。

5. 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用してください。

6. 一日の使用後は必ず電源スイッチを切ってください。

7. 電源プラグは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないこと。

8. 貯水タンクに水を入れたまま移動しないこと。水がこぼれるなど、感電の原因になります。

使用説明書等を必ずご参照ください

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜耐用期間＞

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して製造出荷後 7 年。（自己認証による）

排液ボトル等の付属品は消耗品ですので適宜交換してください。

**【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

詳細については使用説明書の「お手入れ方法」の章を参照。

1. 清掃は電源スイッチを「切」にして圧力計の針が「0」になっていること、本器が冷めていることを確認してから行うこと。
2. 滅菌槽内の清掃
   水又はアルコールをしみ込ませた柔らかい布で滅菌槽内を拭き取り清掃してください。
3. 15 回ほど滅菌サイクルを行いますと排液ボトルに滅菌済の排液がたまりますので必ず廃棄すること。
4. 排液フィルターを滅菌サイクル数にもよりますが、清掃は一週間に一度を目安に行うこと。
5. 本器の性能の維持、安全性の確保のために、使用説明書の「お手入れ方法」を参照して使用前点検や保守点検等の実施をすること。異常が認められた場合、直ちに使用を中止し、(株)ヨシダ営業所までご連絡ください。

＜業者による保守点検事項＞

1. 2 年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。

＜交換部品・別売品＞

1. 排液ボトル
2. 計量カップ
3. 排液フィルター
4. 排水ホース
5. 冷却水用排液ホース栓
6. ドアパッキン
7. アミトレーセット 220（別売品）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県鴻巣市宮前547-1

TEL　048（595）0380

製造元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県鴻巣市宮前547-1

使用説明書等を必ずご参照ください